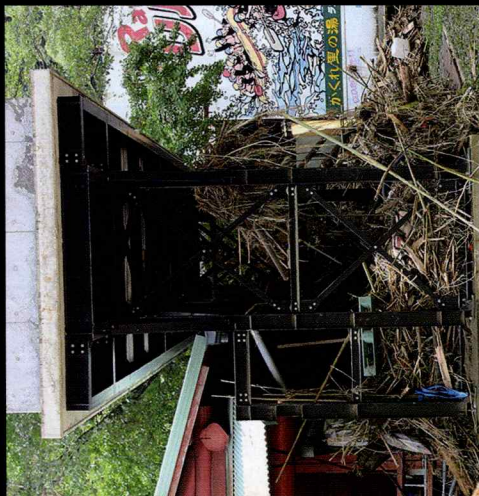
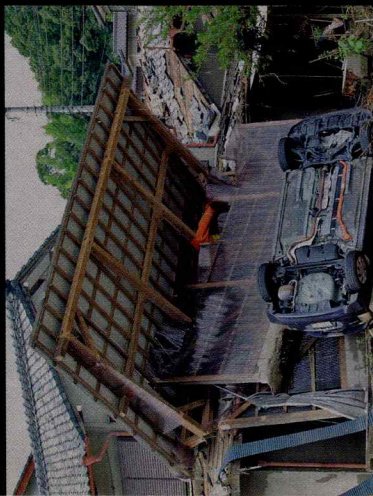
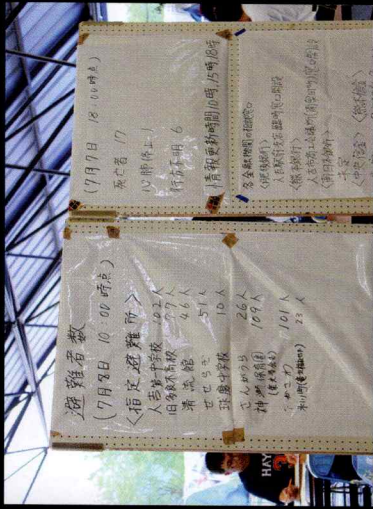


球磨村 渡へ

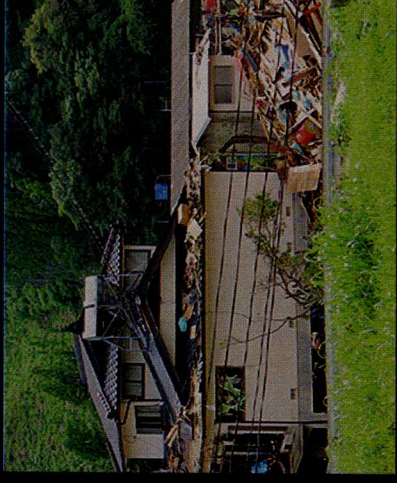
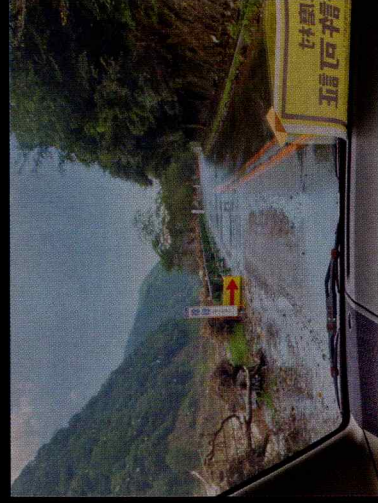
球磨村はこうなっているんだろ…
 私たちは災害対策本部(当時)が置かれた
 さくらホールへ向かった。
 そこには、通信環境が悪くパソコンも十分に機能しない中、
 懸命に対応に当る職員の方々が。
 上空にはくもろくろ。
 孤立地区から救助されてきた方々は
 疲れきった表情を浮かべていた。

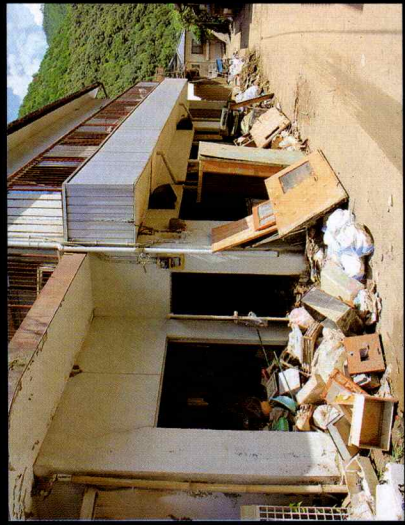
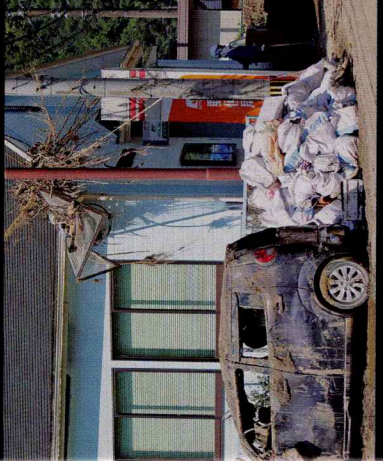
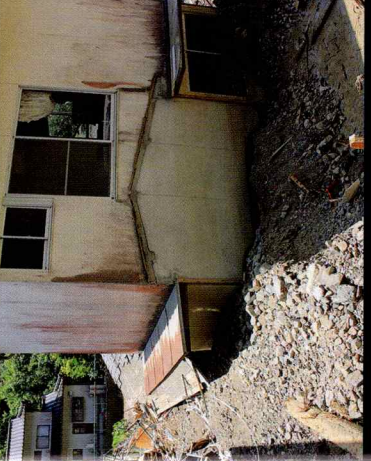




通行許可証をつけ 球磨村 一勝地・神瀬へ

7月末、球磨村の大動脈・国道219号の
仮復旧が完了し、人吉から神瀬までの
車両通行が可能になった。
私たちも通行許可証を取得して現地へ。
道のいたる箇所に
氾濫や崩落の爪痕が残る。
地区には胸を締め付けられるような
光景が広がっていた。

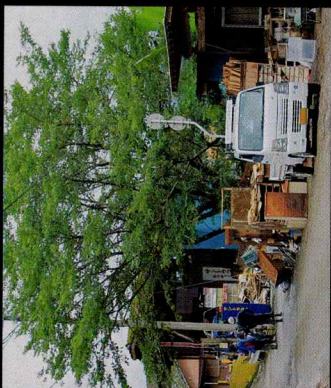
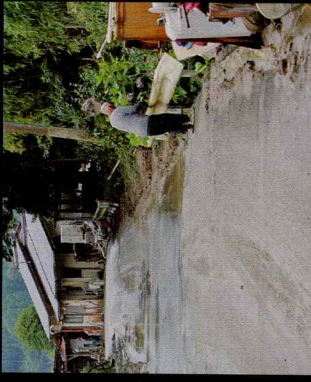
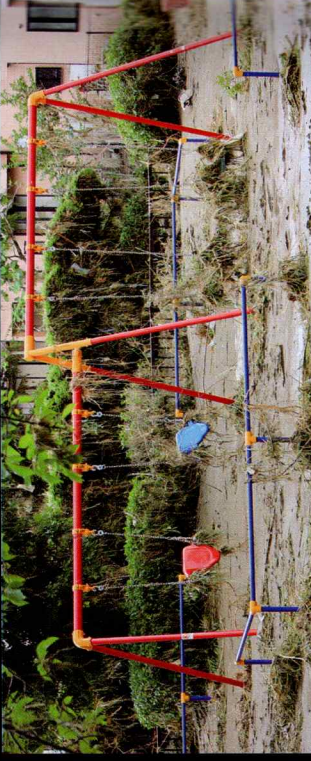
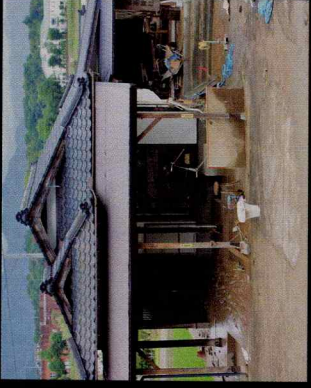
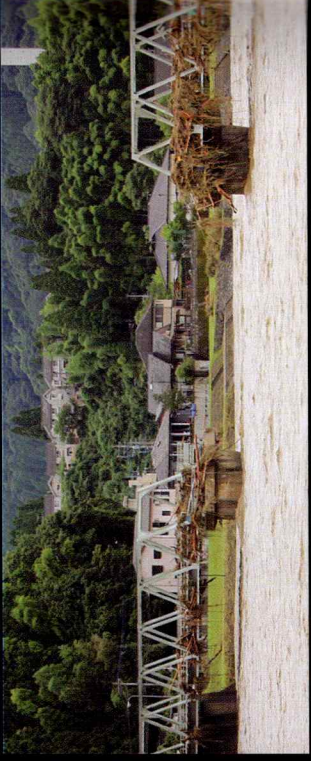
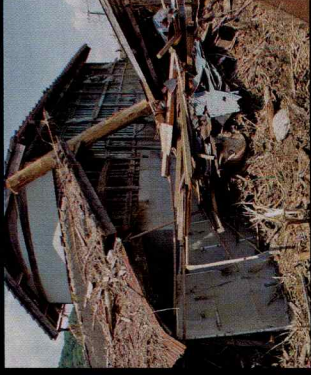






人吉市の 中原小や西瀬小の校区へ

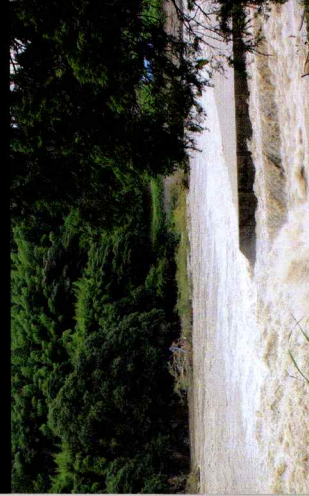
人吉市の広範囲を襲った濁流。
大きく壊れた車や家々がその威力を物語っていた。
温泉、神社仏閣、焼酎の蔵元、… 人吉の誇る伝統や文化も被災した。



山江村



多良木町



錦町

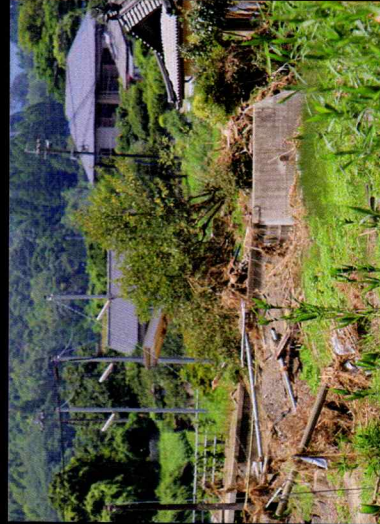


相良村



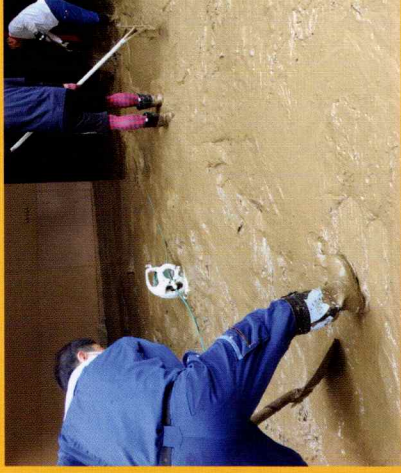
被害は広範囲に

球磨川水系に支えられてきた人吉域。川辺川が南北に貫流する相良村、清流・万江川を有する山江村、そして錦町やあさぎり町、多良木町などでも甚大な被害があった。



あさぎり町





それでも、前に

圧倒的な自然の力を前に愕然とした。
しかし、人吉球磨の歴史は、球磨川とともに生きてきた歴史。
先人たちもそうであったように、
ここを立て直していくのはここに暮らす私たちだ。
少しずつ、少しずつ、前に。

